

合同学術総会

第14回化学生物総合管理学会 第11回社会技術革新学会

知の市場 協賛

日時：2017年9月14日（木） 13:00～17:30

会場：放送大学東京文教学習センター 2階 第2講義室

東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅(出口1)より徒歩3分(東京都文京区大塚3-29-1)

会場アクセスは、<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/bunkyo/about/access.html> をご覧ください。

《プログラム概要》

今回の学術総会では、人々の生活の糧を支えるイノベーションの成否を決する重要な要因として、制度、人材、リスク管理の諸点を取り上げ、躍進著しいシンガポールにおける政策と制度の変革の姿と中国に展開する企業における人材育成の試みを検証すると共に、先端分野における技術革新を社会に展開するために不可欠なリスク管理についてナノ材料を例題に検証する。プログラム詳細は次ページを参照ください。

講演1 シンガポールの国家戦略と成功

須藤 繁 (帝京平成大学 現代ライフ学部 経営マネジメント学科 教授)

講演2 ナノ材料の発がん性とリスク管理への対応

酒々井 真澄 (名古屋市立大学 大学院医学研究科 医学研究科分子毒性学分野 教授)

一般発表

シンガポールの交通管理政策

三橋 茉由 (帝京平成大学)

新入社員に対する海外研修の試み

小林 晃司 (綜研化学株式会社)

《参加方法》

★参加資格:学会の会員以外の方も参加歓迎です。

★参加登録:事前登録制です。参加希望の方は、①参加者氏名(フリガナ)、②所属(勤務先等)、③懇親意見交換会への参加の有無の3点を明記のうえ、E-mail (kagakus * cbims.net) 宛てにお申し込み下さい。

★参加費・懇親意見交換会費:

学会員の方:参加は無料です。懇親意見交換会費は実費を現地にて徴収します。

非会員の方:参加費は1,000円です。以下の口座にお振込み下さい。懇親意見交換会費は実費を現地にて徴収します。

みずほ銀行飯田橋支店,普通口座 2329303,口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

※1 振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。振込手数料はご負担下さい。

※2 出欠にかかわらず、一度振り込まれた参加費の返金はいりませんので、予めご了承ください。

※3 領収書は発行いたしませんので、振込時のご利用明細票をご活用ください。

★参加証:振込の確認が出来次第、メールにてお送りいたします。

参加証は構内入構に必要ですので、プリントアウトしてご持参下さい。

化学生物総合管理学会 社会技術革新学会

連絡先:(E-mail) [kagakus * cbims.net](mailto:kagakus*cbims.net) (*を@に直して送信して下さい)

合同学術総会

第14回化学生物総合管理学会 第11回社会技術革新学会

知の市場 協賛

■ プログラム ■

将来に向かって人々の生活糧を支える社会変革(イノベーション)を実現するためには、技術開発や技術革新の達成のみでは不十分で、リスクの適切な管理も含めた取り組みが不可欠であるだけでなく、さらに技術開発の成果を社会に浸透させていくために、人材改新や制度改革なども必須である。今回の学術総会では、日本を越える豊かさを実現したシンガポールを例に政策と制度の改革と社会の変革の係わりについて検証し、そして、中国に展開する企業における人材育成の試みを紹介するとともに、先端分野における技術革新を社会に展開していくために不可欠となるリスク管理の成否が企業・産業・社会に及ぼす影響について、ナノ材料を例題に検証したい。多数の方々の発表と参加を期待する。

2017年9月14日(木)

放送大学 東京文教学習センター 2階 第2講義室

時間	演目	発表者(敬称略)・所属
13:00	開会挨拶	増田 優 化学生物総合管理学会会長 社会技術革新学会会長 知の市場会長
13:00~15:30	講演	
13:00~14:10	シンガポールの国家戦略と成功	須藤 繁 帝京平成大学 現代ライフ学部 経営マネージメント学科 教授
14:10~15:30	ナノ材料の発がん性とリスク管理への対応	酒々井 真澄 名古屋市立大学 大学院医学研究科 医学研究科分子毒性学分野 教授
15:30~16:50	一般発表	
15:30~16:10	シンガポールの交通管理政策	三橋 菜由 帝京平成大学
16:10~16:50	新入社員に対する海外研修の試み	小林 晃司 綜研化学株式会社
16:50~17:30	全体の質疑および総合討論	
17:30	閉会挨拶	
17:30~	懇親意見交換会(会費制)	

題名、発表順は都合により変更になる場合があります。

プログラム詳細は化学生物総合管理学会ホームページ (<http://www.cbims.net/>) または社会技術革新学会ホームページ (<http://s-innovation.org/>) からご参照下さい。